

記念講演で各地の取材で得たリアルな声を話したフォトジャーナリストの安田菜津紀氏

第17回 全日本民医連学術・運動交流集会

2025年10月10日～11日 東京ビッグサイト国際展示場・TFTホール

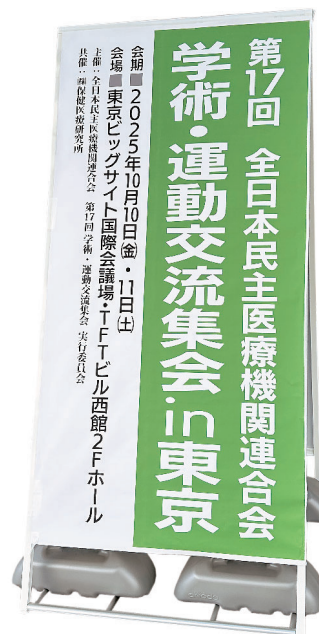
記念講演「紛争地、被災地に生きる人々の声」取材から見た



メインテーマは 非戦・人権・ケアの倫理

第17回 全日本民医連 学術・運動交流集会 in 東京

10月10日(金)～11日(土)の2日間、全日本民医連学術・運動交流集会が開催されました。これは、2年ごとに開催される、全国の民医連事業所が参加する大規模な交流集会です。



今回の全日本民医連学術・運動交流集会のメインテーマは「非戦・人権・ケアの倫理」。このテーマに沿って講演会やポスターセッションが開催されました。

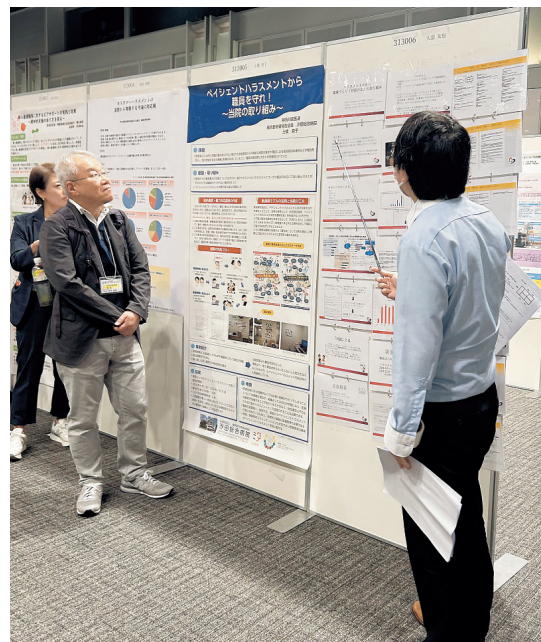
1日目の午前はフォトジャーナリストの安田菜津紀さんによる「紛争地、被災地に生きる人々の声」取材から見た「こと」の記念講演。午後には3つのテーマに分かれてテーマ別セッションが開催されました。

今回の全日本民医連学術・運動交流集会のメインテーマは「非戦・人権・ケアの倫理」。このテーマに沿って講演会やポスターセッションが開催されました。

講演の中での「不条理の横を通り過ぎてはいけない」という言葉が胸に残りました。「被災地や紛争地に関して無関心ではいけない」と、改めて

被爆80年、戦後80年の今年に平和と医療、戦争と医療従事者について考え、民医連綱領の「一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ることに」について、深める機会となりました。

2日目はポスターセッション。全国から工夫を凝らしたポスターの発表で、各事業所での悩みや、成功事例の発表、いろいろな職種の方と意見交換ができ、とても勉強になりました。明日からの活力になりました。



「ハラスメントのない職場づくり」発表の様子

「お仕事フェア」発表の様子



「お仕事フェア」発表の様子



「研修医育成」に皆さまの「声」を
右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。
(耳原総合病院 研修委員会)



その3

健康格差をなくすため、 耳原の新たな一歩

―無差別・平等の医療を実現するために―

耳原総合病院では、新たに3階建ての建物を増築(2028年春完成予定)し、あわせて現建物内の一部改修(2026年秋終了予定)を計画しています。3階建ての建物には、健診センターを設ける計画で、より受診しやすいようスペースを拡張します。

現在の日本では、経済格差が健康格差を生む時代になっており、収入が少ない方ほどがん検診や治療の機会が減り、生活習慣病が重症化する傾向が指摘されています。健康格差に関する研究によると死因別ではがんで格差が大きいたことが明らかになっています。困窮の地域ほど進行がんの罹患率が高く、治療可能な早期がんとして発見される割合が低いのです。

また、堺市でも、単身高齢者や年金収入だけで暮らす世帯が増え、医療費の支払いが難しい方が少なくありません。医療費控除や高額療養費制度があっても、受診までたどり着けない方がいます。こうした現状に 대응するため、耳原総合病院では「無料低額診療事業」に取り組んでいます。医療

私たちが大切にしているのは、複数の疾患をお持ちの方や、経済的・社会的な理由で医療や介護を受けることが難しい方に対して、医師をはじめとする医療チームが、その方に最もふさわしいケアや支援を行い、健康と生活を守る医療を実践することです。

今回の急性期病院としての機能強化は、単に最新の医療機器を整備することではありません。どんな状況の方にも必要な医療を届け、地域の誰もが取り残されない医療を実現すること。それが、私たちがめざす無差別・平等の医療です。

今回の急性期病院としての機能強化は、単に最新の医療機器を整備することではありません。どんな状況の方にも必要な医療を届け、地域の誰もが取り残されない医療を実現すること。それが、私たちがめざす無差別・平等の医療です。

耳原総合病院では、新たに3階建ての建物を増築(2028年春完成予定)し、あわせて現建物内の一部改修(2026年秋終了予定)を計画しています。3階建ての建物には、健診センターを設ける計画で、より受診しやすいようスペースを拡張します。

現在の日本では、経済格差が健康格差を生む時代になっており、収入が少ない方ほどがん検診や治療の機会が減り、生活習慣病が重症化する傾向が指摘されています。健康格差に関する研究によると死因別ではがんで格差が大きいたことが明らかになっています。困窮の地域ほど進行がんの罹患率が高く、治療可能な早期がんとして発見される割合が低いのです。

また、堺市でも、単身高齢者や年金収入だけで暮らす世帯が増え、医療費の支払いが難しい方が少なくありません。医療費控除や高額療養費制度があっても、受診までたどり着けない方がいます。こうした現状に 対応するため、耳原総合病院では「無料低額診療事業」に取り組んでいます。医療

川畑 望